

しろくまテスト 第二回 問題編

(1) 「百聞は一見にしかず」の内容にもっとも近い意味を持つことばを選び、記号で答えなさい。

- ア 論よりしょうこ イ 花よりだんご
ウ 氏より育ち エ 急がばまわれ 答え()

(2) 次の文の「人」に対する筆者の見方として最も適当なものを後から選び、記号で答えなさい。

「人間、生きたいように生きればよいではないか、という人がいる。たしかに、そうかもしれぬ。しかし、どんなふう生きるかを、ことごとくじぶんで決めることができる、と考えるのは、思い上がりというものだ。」

- ア 灯台もと暗し イ 良薬は口に苦し
ウ 井の中の蛙 エ 猫に小判 答え()

(3) 次の文の「 」の反対の意味を表すことばを後から一つ選びなさい。

夕方の散歩で会いたくないものの第一に自動車がある。なるべく車のすくない路をえらぶが、志木街道と呼ばれる通りを横切らないわけにはいかない。その日の道順によっては街道をしばらく歩くこともある。冬は日暮れが早いので帰路は夜道になり、自動車の明かりがうるさく感じられる。尾灯の紅も毒々しい色に思えて「坊主何とかのたとえ」のとおり、自動車についてはどこをとってもよい印象がない。

- ア 泣きつらにはち イ あばたもえくぼ
ウ 知らぬが仏 エ 好きこそものの上手なれ 答え()

☆ ヒント 「坊主なんとかのたとえ」は「坊主」を使ったことわざで、ここに何が入るかを考え、その反対語を考えましょう。

(4) 次の言葉について

1 () にあてはまる適当な漢字一字をそれぞれ答えなさい。
2 それぞれの意味と最も関係深いことばをア～クから選び、記号で答えなさい。

一 () の上にも三年 記号 ()

二 () 薬は口に苦し 記号 ()

三 寝耳に () 記号 ()

四 () とすっぽん 記号 ()

五 五十歩 () 歩 記号 ()

ア やすらぎ イ おどろき ウ いらだち エ しんぼう

オ 悪口 カ 忠告 キ にたりよったり ク 大ちがい

しろくまテスト 第二回 解答編

(1) ア

(2) ウ

(3) イ

(4) 1 石・エ

2 良・カ

3 耳・イ

4 月・ク

5 百・キ